

令和5年度 FD 実施計画書・報告書

令和6年4月

I 学部学科・研究科名

栄養科学部・栄養科学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討 ・ アセスメントプランに基づく成果の検証と公表の開始	I-1-(1)	策定済みの他学部のアセスメントプランを参考に、栄養科学科とフード・マネジメント学科のFD センター委員が協議し作成した、「栄養科学部アセスメントプラン」案について議論した。その後、協議を重ね、両学科の学科会議に諮り、12月に最終化した。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリックの実効性検証	I-2-(1)	令和5年10月に、シラバスに紐づいた授業ルーブリックと課題ルーブリックについてFD研修会を開催した。栄養科学科での導入率が低いことを共有し、既に作成しているルーブリックを例示して、DPと対応させながら、どの様に作成していくかについて具体的に説明をおこなった。来年度のシラバス作成時に、ルーブリックの作成を繰り返しお願いしている。
3	Society 5.0の到来に備えたDP/CPの見直し ・ 数理・データサイエンス・AIに関連する科目等の実施状況の振り返り及び拡大（情報教育センター・教養教育センター及び各学科へ検討依頼）	I-1-(4)	令和3年度のFD研修会において、1) 数理・データサイエンスに関する項文言を新DPに配置した。2) 科目新設は現状において不要である。3) AIに関する栄養学教育は、大学院レベルにおける今後の課題であり、現時点で学部のDPに入れるのは現実的でない。とコンセンサスを得ている。 令和5年6月のFD研修会において、栄養科学科の中藤哲也准教授により、「新しいAIがもたらすもの」というテーマで御講演いただいた。人工知能、深層学習から生成AIに至る歴史的な繋がり、生成AIの正しい利用法とその問題点について、分かりやすく説明していただき、学生への指導において参考となる話題の提供をいただいた。
4	「成績評価ガイドライン」のポリシー策定 ・ 「成績評価ガイドライン」のポリシーの運用開始、実効性の検証	I-2-(2)	令和4年度のFD研修会および学科会議において、成績評価ガイドラインはFDセンター策定案に準拠するという事で承認されていた。

			令和 6 年 1 月の FD 研修会において、成績評価ガイドラインの説明を改めて行った上で、複数科目の成績分布の実態を示し、とりわけ対面講義が増えた令和 5 年度前期と令和 4 年度の成績分布を比較して、どのような傾向があるかについて各科目担当者間で情報を共有した。今後も継続して、本成績ガイドラインを念頭においた公正な評価について、引き続き各教員が点検と改善を行うことを共通で認識した。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	1-2-(3)	・令和 5 年度の FD 研修は、基本的に FD2021 を達成することを念頭に置いた内容で実施した。 その他、令和 5 年 4 月に FD2021 3 か年計画における学科の取り組み進展状況と今年度の達成すべきゴールについて情報を共有し、同時に第 8 次中期総合計画・最終年度で達成すべき事項の確認を行った。さらに、令和 6 年 2 月に研究の質向上目的とした三学科合同研究会が開催した。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
5	4 月	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進 ・FD 重点項目に基づく R5 年度研修日程および内容の共有。 ・FD2021 3 か年計画における学科の取り組み進展状況と今年度の達成すべきゴールについて共有する。 ・第 8 次中期総合計画・最終年度で達成すべき事項の確認 ＜学科主任、FD センター委員＞	4/27	・ FD2021 3 か年計画における学科の取り組み進展状況と今年度の達成すべきゴールについて情報を共有した。 ・ 特に、栄養科学部のアセスメントプランの作成、授業ルーブリックと課題ルーブリックの導入率を上昇させることが必要であることを、共通で認識した。 ・ 第 8 次中期総合計画・最終年度で達成すべき事案について、河手学科長より説明があり、教員間で情報を共有した。 ＜担当：河手学科主任、信久 FD センター委員＞
3	6 月	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 各科目の中で、数理・データサイエンス・AI と関連付けた話題を学生に提供できるよう、それらに関する最近の状況や基礎知識を共有する。＜中藤准教授＞	6/29	・ 栄養科学科、中藤哲也准教授より、「新しい AI がもたらすもの」というテーマで御講演いただいた。人工知能、深層学習から生成 AI に至る歴史的な繋がり、中藤先生が生成 AI を用いて作成した画像・音声を提示いただき、現在において出来る事的一端を理解すると共に、生成 AI の正しい利用法とその問題点について、分かりやすく説明していただいた。学生への話題提供において大変参考となり、またレポート作成など学生指導への注意すべきことについて認識できた。 ＜担当：中藤哲也准教授＞
2	9 月	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ルーブリック導入率の増加を目的とした、講義・実習・演習別の学科共通フォーマットの作成とその活用を検討する。 ＜FD センター委員＞	9/28	・ 授業ルーブリックおよび課題ルーブリックの導入率が他学科より低く、このままでは FD2021 で掲げられている目標が達成できないことを共有した。 ・ 授業ルーブリック、課題ルーブリック、実習におけるルーブリックのそれぞれにおいて、既に作成されている具体例を提示すると共に、現状のルーブリックを例に、DP に対応させるという観点から、どの様に修正および作成していくのかという改善例を提示した。 ・ 学科共通フォーマットの作成は、研修会で提示した具体例を参考にして、とにかくまずは作成してみるということで、導入率の上昇と目標達成を行うことを共通で認識した。 ＜担当：信久 FD センター委員＞

1	10 月	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・DP ルーブリックに関するアセスメントプランについて、策定済みの他学部のアセスメントプランを参考に、各学科 DP の検証に必要な項目も検討した上で、栄養科学部アセスメントプランを策定。 栄養科学科とフード・マネジメント学科の合同開催。 <FD センター委員>	10/26	・令和 5 年 8 月に栄養科学部のアセスメントプランについて栄養科学科の安武 FD センター委員、フード・マネジメント学科の株田 FD センター委員と協議し、栄養科学部の案を作成した。その場で、計画時は合同の FD 研修会を行う予定であったが、各学科で意見の集約を行うこととなった。 ・令和 5 年 10 月の FD 研修会で、栄養科学部のアセスメントプラン案について提示および説明を行い、質疑応答でいくつか修正を伴う必要がある意見があったため、11 月の学科会議に修正案を提示することとなった。 ・フード・マネジメント学科とも修正事項を確認した上で、11 月の学科会議に修正案を提示した。軽微な修正があったが、承認された。このアセスメントプランは 12 月のフード・マネジメント学科での学科会議でも承認され、栄養科学部のアセスメントプランが策定された。 <担当：信久 FD センター委員>
4	1 月	「成績評価ガイドライン」のポリシー策定 ・学科の「成績評価ガイドライン」を再確認するとともに、R4 年度の学科科目の成績分布の現状を共有し、適正な成績評価の在り方について検討する。<学科主任>	1/25	令和 4 年度の成績分布と令和 5 年度前期の成績分布を比較して、Web 講義より対面講義が中心となったことで、成績分布が全体として若干減少傾向にあることが示された。さらに、学科の「成績ガイドライン」を踏まえて、引き続き適正な成績評価を行っていくことを、学科全体で情報を共有した。 <担当：河手学科主任>

5	2 月	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進 ・三学科、すなわち栄養科学科、フード・マネジメント学科および食物栄養学科、合同で各教員の研究を紹介する。また、研究プロジェクトの成果を報告する。	2/28 栄養科学科内およびフード・マネジメント学科、食物栄養学科間で、公募型重点研究奨励制度により助成された研究の成果および教員のこれまで取り組んできた研究の成果について報告を行うことで、お互いの研究内容を理解すると共に、教員の研鑽の機会として、合同研究発表会を行った。計 74 名の参加があった。 【公募型研究奨励制度報告】 ・認知予防・改善効果を有する食物由来の機能性分子の探索 (N) ・認知症グループホーム、通所系サービスおよび地域在住高齢者の低栄養予防・改善に資する本学併設認定栄養ケア・ステーションの新規活動 (N) ・保育・栄養・体育が融合した幼児期の発育・発達プログラムの構築 (S) 【研究報告】 ・薬剤耐性菌問題の解決に向けた取り組み (N) ・カンキツの香気成分とフラボノイド成分に基づく化学的分類 (F) ・胎仔造血幹細胞維持と細胞塊形成に寄与する転写因子 Sox17 と下流遺伝子群 (N) <担当：信久研究委員>
---	-----	--	--